

「賞賀」野村万作



解説 石田 幸雄

小舞

田植

たうえ

野村 太一郎

地謡 高野 和憲

中村 修一

内藤 連

石田 淡朗

狂言

文相撲

ふみずもう

大名 野村 萬斎

太郎冠者 石田 幸雄

新参の者 飯田 豪

後見 中村 修一

狂言

賞賀

もらいむこ

舅 野村 万作

夫 深田 博治

妻 石田 淡朗

後見 内藤 連

笑いの芸術
野村万作・萬斎

狂言公演

「文相撲」野村萬斎



ところ

東京エレクトロンホール宮城

とき

令和3年 12月17日(金)

開場 午後6時 開演 午後7時



人間国宝
野村万作



野村萬斎



石田幸雄

入場料

全席指定

S席 5,100円^{税込み}

A席 4,100円^{税込み}

学生席 1,000円^{税込み}

前売券発売日 令和3年10月8日(金)午前10:00~

※学生席は東京エレクトロンホール宮城のみでの販売となります。ご購入時学生証をご提示ください。 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

プレイガイド

藤崎、仙台三越、東京エレクトロンホール宮城、河北チケットセンターTEL022-211-1189 (電話受付のみ)【月~金 午前10時~午後2時(祝日除く)】
チケットぴあ(Pコード508-731)、ローソンチケット(Lコード22718)

お問い合わせ

東京エレクトロンホール宮城 ▶ TEL022(225)8641 河北新報社 事業部 ▶ TEL022(211)1332 【月~金 午前10時~午後5時(祝日除く)】

※東京エレクトロンホール宮城では、インターネット・電話予約を付けております。チケットは、最寄りのセブンイレブン又は東京エレクトロンホール宮城の事務室窓口でお引き取りいただけます。(https://miyagi-hall.jp/)

感染対策

■感染防止対策をとるため、最前列は販売しませんが、左右1席を空けず通常通りの座席位置で販売します。 ■会場内ではマスクをご着用ください。
■体調の悪い方は来場をご遠慮ください。 ■基準値(37.5℃)を超える体温の方は入場をお断りいたします。 ■チケットの半券に氏名・連絡先の記入をお願いいたします。
■感染症の発生状況によっては公演が中止又は延期となる場合がございます。 ■延期・中止の場合を除き、払い戻しにはご対応いたしかねます。

主催

公益財団法人 宮城県文化振興財団、河北新報社、宮城県(芸術銀河2021共催事業)

公益社団法人 全国公立文化施設協会



文化庁
大規模かつ質の高い文化芸術活動を
核としたアートキャラバン事業

小舞 田植

(たうえ)

能「賀茂」の替間「御田」(「田植」の名で本狂言としても演じられる)中の舞を、狂言小舞として独立させたもの。田植の音頭を取る神主と早乙女たちの、艶なやりとりが謡われる。

狂言

文相撲

(ふみずもう)

新しく家来を召し抱えることにした大名。太郎冠者が連れてきた男は相撲が得意と聞き、同じく相撲好きの大名はその腕前をみようとする。しかし相手がいないので、大名自らが相手をする事になる。最初の勝負で負けてしまった大名は、秘伝の「相撲の書」で対抗策を練るのだが…。いわばマニュアルを使って勝負に勝とうとする大名ですが、作戦はうまくいくのでしょうか？ご注目下さい。

狂言

貰賀

(もらいむこ)

酒を飲んで帰宅した夫が、酔った勢いで妻を追いついてしまう。泣く泣く実家に戻った妻は、たびたびの夫の酒乱に呆れ果て、帰宅を促す父親の説得にも一向に応じない。翌朝、酔いが覚め後悔した夫は、舅を訪ね、妻を返してほしいと頼むのだが…

現代でもよくいる酔っ払い、酒癖の悪い仕様の男を取り巻くお話ですが、三者三様の人間味溢れる登場人物の姿に、変わらぬ人の営みを感じられる狂言です。

主な出演者の紹介

野村 万作

のむら まんさく



1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ品格ある芸で国内外をとわず狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、長谷川伸賞、旭日小綬章、中日文化賞、ニューヨーク・ジャパンソサエティ賞等受賞歴多数。早稲田大学芸術功労者、練馬区名誉区民。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『法螺侍』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の育成にも尽力。著書に『太郎冠者を生きる』(白水社uブックス)、『狂言を生きる』(朝日出版社)など。練馬文化センター名誉館長。

野村 萬斎

のむら まんさい



1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等受賞多数。演出・主演舞台『子午線の祀り』で、18年毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞。著書に『萬斎でござる』『MANSAI◎解体新書』(朝日新聞出版)、『狂言サイボーグ』(文春文庫)等。世田谷パブリックシアター芸術監督。石川県立音楽堂邦楽監督、東京芸術大学客員教授。10月よりドラマ「ドクターX」(テレビ朝日)に出演中。

石田 幸雄

いしだ ゆきお



1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ「万作の会」の重鎮。大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。06年「雙ノ会」で芸術祭大賞。11年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより『国盗人』など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。

笑いの芸術「野村万作・萬斎 狂言公演」プレセミナー

日時

令和3年 **12月6日(月)**

午後6時30分～午後7時30分(開場:午後5時30分)

会場

東京エレクトロンホール宮城

講師: 万作の会 石田 幸雄

上演される演目の内容や狂言の歴史等について知識を深め、日本の古典芸能に親しんでいただくことを目的としたセミナーです。

受講料

500円

受講定員 / 100名程度

募集期間 / 令和3年10月8日(金)～定員になり次第受付終了

申込み方法 / 東京エレクトロンホール宮城窓口のみで販売(受講券発行)

- マスクを着用してご来館ください。■ 体調の悪い方は来場をご遠慮ください。■ 基準値(37.5℃)を超える体温の方は入場をお断りいたします。
- 座席は指定させていただきますので選べません。